

平成 28 年 度

# 事業報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター

**◆公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター**  
**平成 28 年度事業活動報告**

東日本大震災により被災した当地域において、復旧、復興への取り組みが進むなか、被災地に対する様々な支援が5年間という節目を経過して、地域企業は競争の激化した市場の変化に対応して事業の継続、発展を図るための基盤となる技術力、販売力を強化する取り組みがより一層求められるようになってまいりました。

当センターでは、被災から6年目という新たな段階を迎え、これまで取り組んできた企業連携による事業活動の活発化、新たな市場の確保への取り組み、技術高度化など地域企業の課題に対する支援、地域資源を活用した商品開発などの取組みにおいて、企業の企画力、提案力の強化、市場でのポジション確立のため、ものづくり企業のデザイン力に対する支援を強化したほか、技術力高度化のため、当センターに入居する岩手大学釜石ものづくりサテライトの人材、設備を活用したものづくり企業の技術支援をスタートさせました。

新素材など、高付加価値型を目指す高度ものづくり産業推進事業では、昨年度に引き続き、大阪等の企業との交流・連携推進、コバルト合金やFRPの複合材料に関する研修、研究会を開催いたしました。

海商工連携推進事業では、地域の特産品である甲子柿を活用した柿酢サイダーを新商品として開発し道の駅などの定番商品として定着させました。地域資源・バイオテクノロジーを活用した地域資源活用推進事業では、橋野地区のクイモを活用した商品開発のため食品としての機能性などの研究会や地域での生産拡大のための流通に向けた調理方法の開発を進めました。

平成28年度が助成事業として最終年度となるいわて希望ファンドを活用した事業では、地域企業が自主的に取り組む新製品研究会への支援を引き続き行ったほか、経営課題に取り組む地域企業への専門家の派遣、展示会出展への支援を行いました。

また、釜石市沖の海洋エネルギー実証フィールドを活用した波力発電の研究開発においては、委託を受けたNEDO事業の中核機関としての取組みとともに、平成27年度に設立した岩手県海洋エネルギー産業化研究会を開催し講演会などを行ったほか、地域企業とともに洋上での模擬発電ブイの設置など海洋再生可能エネルギーに関連する技術課題への取組みを行いました。

なお、これらの事業の実施にあたっては、今後とも行政、大学、産業支援機関、団体等との連携により、産業基盤の強化と地域経済の活性化に向けて事業を推進してまいります。

## 【 公 1 地域産業育成支援事業 】

### 1. 高度ものづくり産業推進事業（岩手県、釜石市補助事業）

決算額：20,854千円（岩手県3,212千円、釜石市17,640千円）

釜石・大槌地域におけるコバルト合金をはじめとする特殊合金開発のほか、CFRP等の複合材料などの市場投入の可能性が有望なテーマごとの研究会を組成し、参画企業それぞれの技術力の高度化を図りながら、企業同士が連携することにより、付加価値や優位性を向上させ、関連する産業集積の規模を拡大し、雇用を創出する。

具体的には、先進企業や専門家からの技術指導や研修を通じて、高度ものづくり技術と企業連携による高付加価値技術の向上を図った。また、岩手大学に委託して、ものづくりサテライトの機材を使用した難削材加工技術等に関する技術支援を実施した。

#### (1) 戦略的産業創出のための専門家による技術指導

高機能製品開発や高付加価値製品製造などの産業集積を図るため、「製品開発力」「インダストリアルデザイン」「先端材料加工」について専門家を招聘し下記のとおりに技術研修を下記のとおり実施。

##### ① 製品開発力強化事業

回	開催日	内容
第1回	H28.6.17	金属加工事業者向け意見交換会 場所：釜石・大槌地域産業育成センター 参加：25名 内容：事業説明、意見交換
第2回	H28.7.25	FRP加工事業者向け意見交換会 場所：釜石・大槌地域産業育成センター 参加：12名 内容：事業説明、大学の取組紹介、大学シーズ紹介、意見交換
第3回	H28.9.25	FRP活用勉強会（第1回） 場所：釜石・大槌地域産業育成センター 参加：22名 内容：1 講演 ・橋梁、歩道橋などの社会基盤への有効性

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新事業及び実用化、展開について</li> <li>・洋上風力発電の研究</li> <li>・現在の研究と今後の研究計画の紹介</li> </ul> <p>(講師)</p> <p>岩手大学理工学部システム創成工学科 准教授 大西弘志氏</p> <p>2 情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手大学釜石サテライト</li> <li>・釜石・大槌地域産業育成センター</li> </ul>
第4回	H28. 10. 27	<p>複合材料活用勉強会</p> <p>場所：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加：16名</p> <p>内容：1 講演1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CFRP用耐熱性樹脂の開発に向けて</li> </ul> <p>(講師) 岩手大学理工学部化学・生命理工学科 教授 大石好行氏</p> <p>2 講演2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・航空宇宙産業の現状と参入の可能性及び航空宇宙産業関連企業への技術支援事例紹介について</li> </ul> <p>(講師) 秋田県産業労働部地域産業振興課 政策監 兼務 産業技術センター 主席研究員 斉藤耕治氏</p> <p>3 情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手大学釜石ものづくりサテライト</li> <li>・釜石・大槌地域産業育成センター</li> </ul>
第5回	H28. 12. 7～8	<p>内容：複合材料活用勉強会</p> <p>場所：・由利工業株式会社（由利本荘市）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田精工株式会社（由利本荘市）</li> </ul> <p>「非破壊検査工程」「アノダイズ処理工程」のライン視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東北航空宇宙産業広域連携フォーラム（TAIF 主催）（秋田市）</li> </ul> <p>国内航空機産業、低コスト複合材料成形について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県産業技術センター（秋田市）</li> </ul> <p>コンポジットセンターの設備視察</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAXA 宇宙航空研究開発機構能代ロケット実験場（能代市）</li> </ul> <p>参加：13名</p>

第6回	H29. 2. 20	<p>FRP活用勉強会（第2回）</p> <p>場所：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加：21名</p> <p>内容：1 講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁、歩道橋などの社会基盤にFRPを用いることの有効性</li> <li>・FRPを活用した新事業及び実用化、展開について</li> <li>・洋上風力発電の研究</li> <li>・現在の研究と今後の研究計画の紹介</li> </ul> <p>（講師）岩手大学理工学部システム創成工学科 准教授 大西弘志氏</p> <p>2 情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手大学釜石サテライト</li> <li>・釜石・大槌地域産業育成センター</li> </ul>
-----	------------	---

## ② インダストリアルデザイン研修

回	開催日	内容
第1回	H29. 2. 15	<p>インダストリアルデザイン研修 セミナー（公開型）</p> <p>場所：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加：18名</p> <p>内容：講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの地域産業協業活動</li> </ul> <p>（講師）有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役金谷勉氏、ディレクター三嶋貴若氏</p>
		<p>インダストリアルデザイン研修（第1回）</p> <p>場所：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加：13名</p> <p>内容：講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の立ち位置を考える。</li> </ul> <p>（講師）有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役金谷勉氏、ディレクター三嶋貴若氏 株式会社エディシオンズ 代表取締役 金谷克己氏</p>

第2回	H29. 3. 2～3. 3	<p>インダストリアルデザイン研修（第2回）</p> <p>場所：釜石・大槌地域産業育成センター、受講企業（工場見学）</p> <p>参加：12名</p> <p>内容：講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講企業訪問、自社と他社の位置を明確にする</li> </ul> <p>（講師）有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役金谷勉氏、デザイナー勝山浩二氏 株式会社エディシオンズ代表取締役金谷克己氏</p>
第3回	H29. 3. 22	<p>インダストリアルデザイン研修（第3回）</p> <p>場所：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加：13名</p> <p>内容：講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社の差別化について</li> </ul> <p>（講師）有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役金谷勉氏、ディレクター三嶋貴若氏 株式会社エディシオンズ 代表取締役金谷克己氏</p>

### ③ 先端材料加工応用研修

回	開催日	内容
第1回	H28. 9. 15	<p>先端材料加工応用研修</p> <p>場所：釜石ベイシティホテル</p> <p>参加：30名</p> <p>内容：1 講演1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特殊合金研究開発について</li> </ul> <p>（講師）東北大学 金属材料研究所 教授 千葉晶彦氏</p> <p>2 講演・意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高合金(インコネル-718、6-4チタン)加工について</li> </ul> <p>（講師）株式会社共立電機製作所 代表取締役 岸本良信氏</p> <p>3 情報提供</p> <p>厚労省事業『高付加価値型ものづくり技術振興雇用創造プロジェクト』における岩手大学の取り組みについて</p> <p>岩手大学工学部 特任研究員 柳原圭司氏 同 技術専門職員 加賀亨氏</p>

第2回	H28. 10. 18	<p>三次元測定機基本操作技術講習会</p> <p>場所：岩手大学釜石ものづくりサテライト (釜石・大槌地域産業育成センター内)</p> <p>参加：10名</p> <p>内容：1 座学講習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次元測定機の基礎</li> <li>・三次元測定機とは？</li> <li>・三次元測定機で測定できるもの</li> <li>・三次元測定機基本構成</li> <li>・三次元測定機システムの基本構成</li> </ul> <p>2 実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三次元測定機を用いた計測実習</li> </ul> <p>(講師) 株式会社ミットヨ 営業本部 東日本営業部 技術営業課 渡邊圭介氏</p> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手大学釜石サテライト設備と加工事例紹介</li> </ul>
第3回	H29. 2. 10、 H29. 2. 21、 H29. 3. 21、 H29. 3. 24	<p>先端材料加工研修 (実習) (釜石・大槌新製品研究会対象)</p> <p>場所：岩手大学釜石ものづくりサテライト (釜石・大槌地域産業育成センター内)</p> <p>参加：10名</p> <p>内容：1 「3Dデータ作成」「3Dプリンタ造形」「機械加工」 「その他情報提供」について</p> <p>(講師) 岩手大学釜石ものづくりサテライト</p>
第4回	H29. 2. 23	<p>先端材料加工研修</p> <p>場所：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加：21名</p> <p>内容：1 講演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪地域での連携事例の紹介</li> <li>・狭分布金属砂時計の推進とその成果展開の紹介</li> <li>・諏訪エリアでのブランド化推進の紹介</li> <li>・同じプロジェクトを進める場合の内部連携と外部連携ケーススタディ</li> <li>・特殊合金を活用した商品開発について</li> </ul> <p>(講師) 株式会社小松精機工作所 常務取締役 小松隆史氏</p>

		研究開発部 研究開発リエゾンスタッフ 丸山貴史氏
第5回	H29. 3. 14	<p>内容：難削材加工応用研修・成果報告会</p> <p>場所：釜石・大槌地域産業育成センター</p> <p>参加：29名</p> <p>内容：1 講演1            難削材加工及び特殊合金開発について            (講師) 東北大学金属材料研究所 教授 千葉晶彦氏</p> <p>2 高付加価値型ものづくり技術振興雇用創造プロジェクトおける            岩手大学の取り組みについて            (発表) 晴山巧氏 (理工学部物理・材料理工学科)</p> <p>3 講演2・ワークショップ：            地域連携による商品開発プロジェクト推進について            ～諏訪でのプロジェクトと成果・展開と当地域へのご提案～            (講師) 株式会社小松精機工作所 常務 小松隆史氏</p> <p>4 情報提供：            岩手大学釜石サテライト 菊地康仙氏</p>

## (2) ものづくり先進地域との交流

釜石地域とこれまで企業間連携を深めてきた大阪地域ほか、北上地域などの県内の各地域の企業を招き、製品展示や製品発表を行う展示会を開催し、企業間で情報交換を行うことにより、ビジネスマッチングを促進。展示会の開催にあたっては、各連携先の関係機関等の助言指導を行うことにより、参画企業の発信力強化や人材育成を図りながら実施した。

### 【展示会（企画展）】

開催日	内容
H28. 10. 11 ～ H28. 11. 30	<p>会場：釜石・大槌地域産業育成センター 特設展示場</p> <p>出展企業：25社</p> <p>01 有限会社アール（釜石市）、02 株式会社石村工業（釜石市）、            03 株式会社エイワ（釜石市）、04 有限会社エムテック（釜石市）、05 及源            鋳造株式会社（奥州市）、06 株式会社釜石電機製作所（釜石市）、07 株式            会社河合電器製作所（大阪府）、08 北上ネットワーク・フォーラム（北上</p>

	<p>市)、09 株式会社国誉アルミ製作所 (大阪府)、10 株式会社酒井製作所 (大阪府)、11 株式会社ササキプラスチック (大槌町)、12 株式会社三陸技研 (釜石市)、13 三陸テカルデ (釜石市)、14 杉山金属株式会社 (大阪府)、15 大洋製器工業株式会社 (大阪府)、16 株式会社千田精密工業大槌工場 (大槌町)、17 株式会社テツニックス (釜石市)、18 同和鍛造株式会社釜石事業所 (釜石市)、19 南部屋産業株式会社 (大槌町)、20 株式会社プラネックス (釜石市)、21 ミネックス株式会社 (釜石市)、22 株式会社ムライマシンウェルディング (釜石市)、23 株式会社モリシタ (大阪府)、24 株式会社山岸産業 (大槌町)、25 ゆわて吉田工業 (大船渡市)</p>
--	---

### 【ビジネスマッチングin釜石情報交換会】

開催日	内容
H28.10.20	<p>「ビジネスマッチング in 釜石」情報交換会            会場：釜石・大槌地域産業育成センター            参加者： 51名            内容： 1 地域の事例紹介</p> <p>①大阪地域            MOBIO (ものづくりビジネスセンター大阪) マネージャー            S-Cube (さかい新事業創造センター) インキュベーションマネージャー            奥田三枝子氏 (JBIA シニア・インキュベーション・マネージャー)</p> <p>②盛岡地区 (岩手大学)            盛岡市産学官連携研究センターインキュベーションマネージャー            岩手大学三陸復興・地域創生推進機構 地域創生部門 部門長            教授 博士 (学術) 今井潤氏</p> <p>2 企業プレゼン (大阪地域、釜石・大槌地域ほか)</p>



### 【工場見学会】

開催日	内容
H28. 10. 20～10. 21	「ビジネスマッチング in 釜石」工場・施設見学会 参加：18名 訪問先：新日鐵住金(株)棒線事業部釜石製鉄所、石村工業株式会社、釜石魚市場見学、釜石・大槌地域産業育成センター（産業復興状況説明）、株式会社エイワ金属事業部、岩手缶詰株式会社

### （３）新商品開発

エイワが製造するコバルト合金（コバリオン）を活用した事業の実施により、同金属の認知度が向上し、地域企業の連携体である“釜石・大槌新製品研究会”においても、同金属などの地域資源を活用した製品づくりの機運が高まってきた。

コバリオンを素材にした商品は、今までに、エイワが製造・販売する宝剣「輝の御剣（ひかりのみつるぎ）」と、エムテックが製造した高級酒器「JOIN（ジョイン）」と、オフィスキャドムス（北上市）が販売する、コバリオンと日本最強固の木材である斧折樺（おのおれかんば）の接合による異種材料の印鑑、輝の印章 夢結歩（ひかりのいんしょう ゆめゆい）の3商品を製造販売している。

今年度は、地域連携の成果でもある長野諏訪地区の企業の仲立ちにより、コバリオンを素材とし、アイルランドの伝統工芸品である「クラダリング」の製作が実現した。また、指輪のケースの加工に地域の木材加工や縫製技術が活かされた。今後も、釜石・大槌新製品研究会では、来たるべきラグビーワールドカップ2019に向け、商品アイデアを巡らせているところであり、岩手大学ものづくりサテライトの研究者等の指導を受けながら、設置機材を活用し、試作品製造できることも、商品開発を促進する好材料である。



#### (4) 難削材加工技術等支援

地域中小企業が行う難削材や先端材料の高度加工、測定、設計について、その技術課題を克服するため、当センターに入居している岩手大学ものづくりサテライトの設置機材を地域中小企業が使用して試作品等の加工を行い、これに対して同サテライトの技術支援員が機器の操作、加工データ作成、デザイン、計測等を補助、アドバイスする技術支援業務を、釜石市の助成を受けて岩手大学に委託し、下記内容について支援業務を実施した。

##### ①技術相談・技術指導の対応（目標 50 件）

77 件（17 社・7 団体）

CAD/CAM、研削盤、ワイヤー放電加工、5 軸マシニング、3D 計測、  
マイクロスコープなどの相談

##### ②企業調査の実施（目標 50 件、15 社）

57 件（33 社）

##### ③研究会などへの参加

研究会等 41 件 展示会等 9 件（うち、4 件主催）

##### ④産学共同研究の推進（目標 3 件）

- ・高台避難のための階段避難路用 GFRP 製床版の開発
- ・電磁ログセンサの海洋生物付着防止策に係る有効性評価試験

##### ⑤人材育成の実施（目標 技術講習会 2 件、大学・高校生向け 1 件）

技術講習会 3 件 大学・高校生向け 8 件

## 2. 海商工連携（6次化）・地域資源活用推進事業

### 決算額：1,809 千円（釜石市補助事業）

東日本大震災から丸 6 年、地域の食品関連産業では今なお復旧・復興に向けた課題が挙げられている一方で、「道の駅」の開業や「橋野鉄鉱山・高炉跡」の世界遺産登録、また昨年度は「いわて国体」も開催されるなど、より一層交流人口が拡大した。

更に今後「2019 ラグビーワールドカップ」開催に向けて、更なる拡大が見込まれることから、食に関わる新商品の開発やブランド力の強化、地域固有の資源を活用した新しい取り組みなど、地域食産業の活性化を図ることを目的に実施した。

#### (1) 新商品の開発

新商品の開発に重点を置き、より具体的な開発支援を行った。

また、当初から取り組んできた水産加工品の商品開発については、前浜の不漁などにより原料が確保できず実施できなかった。

【勉強会の開催】

開催日	内容
H28. 4. 26 (火)	<p>第1回商品強化勉強会</p> <p>会 場：育成センター 応接室</p> <p>講 師：岩手県産業創造アドバイザー (株)エムシーアール 代表 大滝克美 氏</p> <p>講 師：岩手県産業創造アドバイザー (株)オフィスハル 代表 後藤晴彦 氏</p> <p>参加者：10名</p> <p>内 容：・参加者から近況報告 ・昨年度の実績報告及び今年度計画の確認 ・開発商品販売までのスケジュール確認（柿酢サイダー）</p> <p>結 果：1) 開発商品（柿酢サイダー）について、全員で試作品を試飲。 参加者からも様々な意見・感想はあったが、まずはモニタリングを実施し、一般の方々の意見・感想を取り纏め、テスト販売を行たうえで味の調整、価格、デザイン等を決める。 ・製造販売は釜石振興開発 ・モニタリングはGWに道の駅で、テスト販売は同じくGWから数量限定で道の駅と釜石特産店で行う。</p>
H28. 9. 16 (金)	<p>第2回商品強化勉強会</p> <p>会 場：育成センター 応接室</p> <p>講 師：岩手県産業創造アドバイザー (株)エムシーアール 代表 大滝克美 氏</p> <p>講 師：岩手県産業創造アドバイザー (株)オフィスハル 代表 後藤晴彦 氏</p> <p>参加者：10名</p> <p>内 容：・参加者から近況報告 ・柿酢サイダーの経過について ・その他</p> <p>結 果：1) 柿酢サイダーについて モニタリング・試験販売を経て正式発売を開始したところ、予想を遥かに上回る売れ行きとなった。 発売から今日まで約1ヶ月半で6,000本が売れ、3度目の生産（累計9,000本）を行った。 今後また様子を見ながら販売計画を練る。</p>

	<p>&lt;経過&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4/28 モニタリング調査実施 以後、市内飲食店でも調査を実施</li> <li>・7/ 8 本生産1回目 (3,000本)</li> <li>・7/27 プレスリリース (ラベル一新、ホスター、ホリ等も作成) 以後1週間で1,300本 が売れ8/14に完売。</li> <li>・8/22 本生産2回目 (3,000本)</li> <li>・9/12 3,000本完売</li> <li>・9/12 本生産3回目 (3,000本)</li> <li>・1/10 今シーズン4回目の生産 (3,000本)。 累計で1万2千本</li> </ul> <p>2) おつまみセット (tosti) について 原料となる水産加工品について、今年は全く前浜のものがあが らず厳しい。 これからの水揚げの様子を見て考えたい。</p>
H29. 2. 28 (火)	<p>第3回商品強化勉強会</p> <p>会 場：育成センター 応接室</p> <p>講 師：岩手県産業創造アドバイザー (株)エムシーアール 代表 大滝克美 氏</p> <p>講 師：岩手県産業創造アドバイザー (株)オフィスハル 代表 後藤晴彦 氏</p> <p>参加者：10名</p> <p>内 容：・講師から事例紹介 ・第2弾開発商品について ・その他</p> <p>結 果：1) 開発商品について 今年度第2弾となる開発商品について、菊池氏から説明。 コンセプトは、道の駅のキャッチフレーズ (アユ踊る 清流と甲子柿の里) にちなみ、アユの形をした最中サブレを開 発したい。 甲子川のアユは昨年の「利き鮎大会」で全国一を獲得。 全員で試作品を試食しながら意見交換を行った。 ・味は悪くないが、もう少し工夫が必要。 ・振興開発でモニタリング調査・テスト販売を実施する (育成セ ンターから委託)。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造は小島製菓に依頼。</li> <li>・発売時期は道の駅開業2周年の日(4/21)。</li> </ul>
--	---

## 【開発商品】

### ○第一弾：甲子柿サイダー

#### <商品の特長>

地元産の甲子柿のみを原料に作られた「仙人柿酢」を使った、ほのかな柿の甘みとスッキリした味わいが特徴の炭酸飲料。

#### <商品規格等>

- ・内 容 量：340ml
- ・価 格：250 円（消費税込）
- ・販 売 者：釜石振興開発株式会社  
（釜石市鈴子町 22-1）
- ・販売場所：道の駅『釜石仙人峠』  
『かまいし特産店（シープラザ釜石内）』他



### ○第二弾：かまいし最中サブレ『あゆ美人』

#### <商品の特長>

道の駅釜石仙人峠のキャッチコピー“アユ踊る清流と甲子柿の里”にちなみアユをモチーフにした、最中にサブレを詰めた新しい食感のお菓子。



#### <商品規格等>

- ・4/21 発売開始
- ・価 格：500 円（5 個入りパック税抜）
- ・製 造 者：有限会社 小島製菓（釜石市上中島町 1-2-38）
- ・販売場所：道の駅『釜石仙人峠』  
かまいし特産店（シープラザ釜石内）、花巻空港、カワトク他



## (2) 地域資源活用研究会の開催

開催日	内容
H28.11.11 (金)	<p>第1回 地域資源活用研究会「地域商品開発セミナー」</p> <p>会 場：育成センター 大会議室</p> <p>内 容：第1部 講演</p> <p>テーマ「地域資源を活用したヒット商品の開発事例 ～カスマバ<sup>®</sup>イヤーが選ぶヒット商品とは～」</p> <p>講師 猪口由美氏 (セコム株『セコムの食』バ<sup>®</sup>イヤー兼ライター)</p> <p>第2部 トークセッション</p> <p>猪口氏と岩手県産業創造アドバイザーの後藤晴彦氏による、それぞれの視点から商品力を高めるための地域の取り組みについてお話しいただいた。</p> <p>第3部 名刺交換会・交流会</p> <p>参加者が持参した商品の紹介・試食をしながら、講師と参加者で名刺交換や情報交換を行った。</p> <p>参加者：43名</p> <p>(持参品)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こすもす：甲子柿、CAS冷凍柿、ドレッシング等</li> <li>・アンジェリック(製造)：みそケーキ(販売：藤勇醸造株)</li> <li>・仙人醸造祖：冷凍柿、大蒜酢のピクルス、柿酢</li> <li>・工藤食品：もちてつ等</li> </ul>  <p>結 果：商品開発等の専門家による講演とトークセッションを行い、他地域での事例を含めた商品開発ノウハウを紹介することで参加者に具体的な商品開発へのヒントを提供することができた。</p>
H29.2.16 (木)	<p>第2回 地域資源活用研究会</p> <p>会 場：育成センター 大会議室</p> <p>内 容：講演1「おなかの免疫系と漢方薬・食物繊維 ～橋野町産キクイモ研究の紹介とともに～」</p>

	<p>講師 清原寛章氏（北里大学教授）</p> <p>講演 2 「釜石市－北里大学－神奈川科学技術アカデミー 地域連携の取り組み」</p> <p>講師 熊澤利昭氏 （神奈川科学技術アカデミー コーディネーター）</p> <p>報告 菊芋周知活動等の報告&amp;菊芋クッキー試食 （釜石・大槌地域産業育成センター）</p>  <p>講演 3 「清酒酵母の特徴と釜石はまゆり酵母の可能性」</p> <p>講師 下飯仁氏（岩手大学教授）</p> <p>参加者：47名</p> <p>結果：菊芋の機能性(免疫調節作用)を理解し、菊芋の利用促進に向けて参加者の意識醸成が図られた。</p> <p>また、釜石はまゆり酵母は、今後の商品開発に向けて酒母酵母として可能性があることと、今後の課題を認識することができた。</p>
--	---

### (3) イベント出展・展示会視察等

開催日	内容
H28.11.6（日）	<p>「水車祭り」出展</p> <p>菊芋を販売する「橋野どんぐり広場産直」で行われる「水車まつり」に参加。菊芋試食コーナーを出展し、橋野産菊芋をPRした。</p> <p>場 所：橋野どんぐり広場産直</p> <p>出展物：菊芋の漬物</p> <p>来場者：約430人</p> <p>結果：「水車まつり」の来場者は約450名。</p> <p>その中で菊芋PR用のチラシを配布し、来場者に2種類の菊芋の漬物を約100食試食してもらう等、橋野産菊芋をPRした。</p>

	
H28.11.23 (水)	<p>「お客様感謝デー」 出展</p> <p>菊芋を販売する「橋野どんぐり広場産直」で行われるイベントに参加。菊芋試食コーナーを出展し、橋野産菊芋をPR・販売した。</p> <p>場 所：橋野どんぐり広場産直</p> <p>結 果：菊芋PR用のチラシを配布し、来場者に2種類の菊芋の漬物を試食してもらった等、橋野産菊芋をPR・販売した。</p>
H28.11.23 (金) H28.12.13 (火)	<p>「龍澤学館 菊芋料理教室&amp;健康教室」協力参加</p> <p>龍澤学館とNPO法人ともいきが開催する菊芋料理教室に参加・協力し参加者に橋野産菊芋をPRした。</p> <p>会 場：平田第6仮設住宅 (11/23) カリタス釜石 (12/13)</p> <p>結 果：菊芋20kgを主催者に提供したと共に開催周知当、会場準備等の協力、チラシ配布し菊芋をPRした。 提供した菊芋料理 (ひつつみ汁、しんじょ揚げ、マドレーヌ)。</p>
H28.12.8 (木)	<p>機能性表示食品セミナー・相談会」参加</p> <p>地域資源の活用において、他の生産地との差別化、地域のブランド化等を目指す方策の一つとして、機能性表示食品への取組みを検討するセミナー及び相談会に参加した。</p> <p>会 場：宮城県仙台市フォレストホール</p> <p>結 果：1商品にかかる経費は約300万円で、期間は専門家2人で半年から1年はかかることがわかり、ハードルは高いことがわかった。 また、相談会では、研究レビューが揃っていない菊芋よりも、揃っている鮭(魚のEPAやDHA)などを検討することをすすめられた。</p>
H28.12.9 (金)	<p>「道の駅おおさと」視察</p> <p>菊芋を特産化している大郷町道の駅を視察し、その取組みを視察。</p> <p>場 所：「道の駅おおさと」</p> <p>結 果：収穫時期には生で、それ以外の時期には「菊芋パウダー」や菊芋パ</p>

	<p>ウダーを練り込んだ「うどん」「ギョウザ」を商品化・販売している。</p> <p>最近では、関東方面からの問い合わせや注文が増えてきているとのこと。菊芋の粉末化の取組み等参考になった。</p>
<p>H29.2.17 (金)</p>	<p>健康食品博覧会」及び「スーパーマーケット・トレードショー」視察</p> <p>菊芋の商品開発で連携している“かまいしワーク・ステーション”と共に、他地域の菊芋に関する取組み状況や、全国的な動向・トレンドなどを探る目的で国内最大規模の展示会を視察。</p> <p>場 所：幕張メッセ、東京ビックサイト</p> <p>結 果：菊芋を特産化している先進地域から、現状や取り組むうえでの課題等について詳しく聞くことができたほか、健康食品や栄養補助食品等（サプリメント）業界の動向やトレンドなどを知る事ができ、当地域の取組みを強化・推進して行く上で非常に参考になった。</p>

### (3) 地域資源の活用促進

#### 菊芋パンフレットの作成

橋野産菊芋を市民の方や事業者によく周知するためのパンフレットを制作。

地元での消費拡大のために活用する。

パンフレットには、橋野地区の紹介や龍澤学館協力のもと料理レシピの紹介も掲載。

菊芋については、北里大学の清原教授に監修してもらい研究内容を掲載した。

作成部数：1,000部



#### 菊芋を原料にした試作品の開発

“かまいしワーク・ステーション”と連携し、粉末化した橋野産菊芋を活用した菊芋クッキーなどを試作。



当センター所有の機器（粉碎機、乾燥機、フードプロセッサ）を貸し出した他、菊芋 10 kg を提供。様々取り組んでもらった結果、菊芋ボールクッキーの試作品が完成。

2/16 の第 2 回地域資源活用研究会で参加者に試食してもらい好評だった。

次年度の商品化を目指す。

### 3. いわて希望ファンド地域活性化支援事業

#### 決算額：4,271 千円（いわて産業振興センター補助事業）

当地域における、ものづくり中小企業の連携による新製品開発を支援するほか、個別中小企業の様々な課題に対し、専門家派遣事業を実施した。

#### （1）新製品研究会の開催

当地域の中小企業 12 社で構成される「釜石・大槌新製品研究会」を毎月開催した。また、研究会を支援する専門家 2 名を支援アドバイザーとして委嘱し、毎月開催する研究会において、それぞれの専門的知見から助言、指導を得た。

【メンバー企業】有明興業(株)、石村工業(株)、(株)エイワ、(有)エムテック、小松製作所、(株)ササキプラスチック、(株)テツニックス、(株)ハートブリッジ、(株)プラシーズ釜石、(株)ムライマシンウェルディング、(株)山岸産業、(一社)和 RING-PROJECT

【支援アドバイザー】大竹国際特許事務所 代表 大竹正悟氏、(株)北上オフィスプラザ コーディネーター 鈴木功氏

研究会を 11 回開催した。（毎月開催することになっているが、11 月開催日に津波注意報が発令されたことから、11 月は中止とした。）

開催日と主な内容は次のとおり。（開催場所は全て産業育成センター会議室）

	日時	平成 28 年 4 月 25 日（月） 15：00～18：00
4 月	内容	・ 講演：虎舞ラガーキーホルダー制作について 講師：釜石地方森林組合 高橋幸男氏、手塚さや香氏 ・ 情報提供：岩手大学釜石ものづくりサライトの取組みについて 岩手大学三陸復興・地域創生推進機構 准教授 今井潤氏 ・ 協議：今年度の進め方について

5月	日時	平成28年5月27日(金) 15:00~18:00
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品発表: 印鑑(夢結歩)について(対マスコミ)</li> <li>・商品開発: ゴルフバター製作の進捗状況報告</li> <li>・情報提供: ビジネスマッチ東北展示会について 宮古信用金庫 営業推進部 課長代理 山本真也氏、 同大渡支店長 田中辰実氏</li> <li>・情報提供: 岩手大学(ものづくりサテライトの活用事例)、 産業育成センター(海洋エネルギー事業について)</li> </ul>
6月	日時	平成28年6月17日(金) 15:00~17:45
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工場見学会: 小野食品(株)大槌工場</li> <li>・講演: 商品PR手法について 講師: (株)エディションズ 代表取締役 金谷克己氏</li> <li>・情報提供: フランスマーケット進出サポートについて (株)サマンサ 代表取締役 斉藤よう子氏</li> <li>・協議: 「ビジネスマッチ東北」出展について</li> </ul>
7月	日時	平成28年7月19日(火) 15:00~17:30
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供: 地方創生推進事業の基本的な考え方について (株)トライステージ 遠藤光信氏、武藤雄仁氏</li> <li>・情報提供: 岩手大学の釜石キャンパス構想 岩手大学三陸水産研究センター センター長 田中教幸氏</li> <li>・協議: ラグビーワールドカップに向けたお土産開発について、 研究会の運営について</li> </ul>
8月	日時	平成28年8月23日(火) 15:00~17:30
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演: 魅せる商品づくりについて 講師: (株)エディションズ 代表取締役 金谷克己氏</li> <li>・情報提供: 県内の伝統工芸品産業について 岩手県産業経済交流課 主事 高橋花奈氏</li> <li>・協議: 展示会出展について</li> </ul>
9月	日時	平成28年9月23日(金) 15:00~18:00
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議: 新しい東北復興ビジネスコンテスト2016について 商品開発についてアイデア出し</li> </ul>

10月	日時	平成 28 年 10 月 20 日 (木) 14:00~16:30
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議：商品開発についてアイデア出し（前月からの継続）</li> <li>・報告：新しい東北復興ビジネスコンテスト 2016 について</li> </ul>
12月	日時	平成 28 年 12 月 15 日 (火) 15:00~17:45
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演：釣具開発・販売 VS 地域中小企業の技術について 講師：釜援隊 齋藤孝信氏（岩手大学釜石サテライト）</li> <li>・取組紹介：コバリオン海外展開について</li> <li>・協議：商品開発についてアイデア出し（前月からの継続）</li> </ul>
1月	日時	平成 29 年 1 月 26 日 (木) 15:00~17:30
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議：商品開発についてアイデア絞込み（前月からの継続） 次年度の事業計画について</li> </ul>
2月	日時	平成 29 年 2 月 21 日 (火) 15:00~17:30
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議：商品開発についてアイデア絞込み（前月からの継続） 次年度の事業計画について</li> </ul>
3月	日時	平成 29 年 3 月 24 日 (金) 15:00~18:00
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演：中小企業が生き残るために必要なこと オラたちの生き残り戦略 講師：研究会アドバイザー 大竹正悟氏（大竹国際特許事務所）</li> <li>・協議：ラグビーワールドカップに向けたお土産開発の進捗 次年度の事業計画について</li> </ul>

## （２）セミナーの開催

### ①「デザインセミナー」の開催

商品開発におけるデザインの重要性については、釜石・大槌新製品研究会においても議論が進められているところであり、当地域のモノづくりのヒントや協業のあり方等について学ぶことを目的にセミナーを開催した。

日 時：平成 28 年 11 月 2 日 (水) 16:00~18:45 (※個別相談会含)

場 所：産業育成センター 大会議室

参加者：30 名

講 演：「デザインと地場産業における協業のあり方」

講 師：(有)セメントプロデュースデザイン 代表取締役 金谷勉 氏

(個別相談会のサブ講師：(株)エディシヨonz 代表取締役 金谷克己氏)

## ②「商品力強化セミナー」の開催

商品 PR 手法、特に Facebook などの SNS に着目し、効果的に商品を PR する方法など商品力を強化するポイントについて学ぶことを目的にセミナーを開催した。

日 時：平成 29 年 2 月 28 日（火） 13：30～15：00

場 所：産業育成センター 第 3 研究開発室

参加者：25 名

講 演：「SNS を活用した商品 PR について」

講 師：㈱エディショonz 代表取締役 金谷克己 氏

## ③「釜石・大槌企業交流プラザ」の開催

資金調達の手法の一つとして、現在注目されているクラウドファンディングについて理解を深めるとともに、地域の様々な商品開発の取り組み等について事例発表を行った。

日 時：平成 29 年 2 月 28 日（火） 15：00～18：00

場 所：産業育成センター 大会議室

参加者：72 名

講 演：「CAMPFIRE×LOCAL“地域”に特化したクラウドファンディングサービスについて」

講 師：㈱CAMPFIRE 荒井洋平 氏

事例発表：①「みやげ品開発プロジェクト報告」

岩手県沿岸広域振興局 佐々木恒人 氏

②「ふるさと納税返礼品を活用して販売促進」

釜援隊 若林正義 氏

③「釜石の木と鉄の家具“mori-to-tetsu”の開発秘話」

㈱宮崎建築事務所 宮崎達也 氏

④「釜石産新合金“COBARION”世界に発進」

㈱エイワ 山崎雅弘 氏

⑤「岩手大学の起業家支援の取り組みと地域企業とのコラボレーション」

岩手大学 COC 推進室 柴田亮 氏

## （3）専門家派遣事業の実施

地域中小企業が抱える経営、技術、人材、販路等の課題解決に向けて、専門家派遣事業を 5 社に対し計 28 回実施した。

【実施企業及び専門家】

①㈱ササキプラスチック（専門家：鈴木功 氏）

設備導入による取引（受注）拡大について（3回実施）

②㈲宝来館（専門家：(合)地域計画 代表社員 熊谷智義 氏）

新規プロジェクトの企画整理、考え方について（5回実施）

③㈱テツニックス（専門家：office CADMS テクニカルマネージャー 小田中稔 氏）

社内における3次元CAD活用による治具の設計について（3回実施）

④㈱ハートブリッジ（専門家：元気化研究所 代表 佐藤和也 氏、  
NEXT ONE 代表 松尾高広 氏、  
鈴木功 氏）

自社新製品の販売戦略、デザインについて（2回実施）

新規事業の事業化、経営体制について（5回実施）

⑤㈱山岸産業（専門家：鈴木功 氏、㈱イーノス 副社長 高橋清美 氏）

新規事業（いわて希望ファクトリー事業申請）について（5回実施）

ISO取得に向けた生産管理、品質管理について（5回実施）

#### （4）展示会への出展

販路開拓を図ることを目的に以下の展示会に出展した。

①「ビジネスマッチ東北2016」

会 期：平成28年11月10日（木）

会 場：夢メッセみやぎ

出展物：釜石・大槌新製品研究会「宝剣 輝の御剣」、「高級酒器 JOIN」、  
「印鑑 輝の印章 夢結歩」

備 考：岩大学ブース内に展示

②「震災対策技術展」

会 期：平成29年2月2日（木）～2月3日（金）

会 場：パシフィコ横浜

出展物：㈱山岸産業「ハイブリット式非常用小型発電機」  
石村工業㈱「クラフトマンC3」、



#### 4. 次世代海洋エネルギー発電技術開発研究事業

決算額：32,930千円（NEDO委託事業）

岩手県及び釜石市では、海洋エネルギー分野を当地域の重点新産業分野と位置付け、産学官連携により新事業開発に取り組んでいる。また、平成27年4月には釜石市沖が国内7番目の海洋エネルギー実証フィールドとして採択された。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託による本研究開発に取り組むことにより、将来的に当地域が海洋エネルギーの研究開発、実験エリアの拠点として実証試験などの事業活動が行われた際に、地域中小企業が関連する事業に参画することや付帯する業種の事業所の誘致が進むことによる新事業の創出や地域経済の活性化につなげる。

##### （1）研究テーマ・研究期間

「リニア式波力発電技術の研究開発」 平成26年12月～平成30年3月

##### （2）研究開発メンバー

公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター

国立大学法人東京大学

国立大学法人東北大学

国立大学法人横浜国立大学

国立研究開発法人海上技術安全研究所

##### （3）研究員の雇用

東京大学生産技術研究所内に「産業育成センター海洋エネルギー室」を設置し、その分室勤務の研究員3名（前東京大学特任教授2名、大手造船企業OB1名）、研究補助員1名を研究開発の専任として雇用している。

（平成26年度から継続）

##### （4）研究開発内容

平成32年以降、事業化時に発電コスト20円/kWh以下を実現するために必要な波力発電デバイス及びそのアレイに関する次世代発電制御技術を開発する。

欧州で実証実験が始まったリニア式波力発電のプロトタイプを参考に、日本での将来の商業利用を主眼として、以下の技術開発を行った。

（※当センターは、研究開発項目Cを担当。）

##### A. 次世代PTOシステムの開発

A-1 次世代同調制御技術の開発

A-2 リニア型発電システムの開発

A-3 実海域波浪計測及び解析

発電抵抗を考慮した次世代同調制御の理論を数値シミュレーション及び水槽実験により検証した。さらに実海域運転に不可欠な、波形予測理論に基づくフィード・フォワード制御のプログラムを開発し、水槽実験に実装した。

## **B. 波力発電アレイ制御技術の開発**

B-1 数値シミュレーションによる解析

B-2 水槽実験と釜石湾試験海域における模型実験

共振状態にある発電機アレイでは単独の場合に比べ発電量が増加することを数値シミュレーションにより確認し、フィード・フォワード制御のプログラムを水槽実験に実装した。

平成29年度に予定していた釜石湾試験海域における模型試験は、試験機の構造強度に関する検証が不十分として実施しないこととされた。

## **C. 次世代波力発電システムの発電コスト評価**

C-1 リニア式発電デバイスのコンセプトの検討

C-2 係留システムと設置工事のコンセプトの検討

C-3 発電コストの評価

軽量・コンパクトなデバイス構造及び商業規模の処理能力・スループットを前提とした工法について、そのコンセプトを示した。海外実証実験機をベンチマークとしてコスト分析を行い、次世代コンセプトに焼き直すことにより、国内 50MW級及び 500MW級波力発電ファームの CAPEX、OPEX（設備投資、運転費用）及びこれらを総合した AEP（年間発電量）の評価を行った。

## **(5) 推進委員会の開催**

研究開発についての外部評価を得るために、外部委員2名（日本海事協会 部長、ノースカロライナ州立大学 教授）を推進委員に選任し、NEDO プロジェクトリーダー、担当者同席による会議を開催した。

（第1回）平成28年7月20日（水）東京大学生産技術研究所

（第2回）平成28年12月9日（金）東京大学生産技術研究所

## 5. 海洋エネルギー産業創出支援事業

**決算額：22,690千円（岩手県・釜石市補助事業）**

岩手県沿岸部に海洋エネルギー研究開発拠点を構築し、関連産業の集積や新産業創出を図ることを目的に下記事業を実施した。

### (1) コーディネーターの配置

研究会活動をコーディネートする専門職員として、高橋修三（海洋エネルギー産業化コーディネーター、工学博士）を雇用した。（H27年度から継続）

### (2) 海洋エネルギー産業化研究会・ワークショップの開催

海洋再生可能エネルギーの産業化に関連して、本県沿岸地域の産業強化を図るため、平成27年12月に発足した、「岩手県海洋エネルギー産業化研究会」を下記のとおり開催した。

開催日	開催概要
H28.6.15（水）	<p>「ワークショップ」</p> <p>会 場：産業育成センター 大会議室</p> <p>参加者：51名</p> <p>内 容：</p> <p>【講演会】</p> <p>①海洋再生可能エネルギー産業化の取組み （講師：長崎県五島市再生可能エネルギー推進室 室長補佐 北川数幸氏）</p> <p>②国内初の浮体式海洋風力発電設備の実用化 （講師：戸田建設(株) 価値創造推進室 エネルギーユニットマネージャー 佐藤郁氏）</p>
H28.8.19（金）	<p>「定期総会・第1回産業化講演会」</p> <p>会 場：産業育成センター 大会議室</p> <p>参加者：49名</p> <p>内 容：</p> <p>【定期総会】 事業報告及び事業計画</p> <p>【講演会】</p> <p>①PW-OWC（空気タービン）型波力発電装置の開発 （講師：エム・エムブリッジ(株) 技術部 部長代理 木原一禎氏）</p> <p>②ロボットと海～水産ロボティクス （講師：岩手大学 理工学部 准教授 三好扶氏）</p> <p>③試作中間ブイの海洋予備試験（第2回目）の報告 （発表者：産業育成センター 高橋修三）</p>

H29.2.9 (木)	<p>「第2回産業化講演会」※海洋教育フォーラムと共催  会場：産業育成センター 大会議室  参加者：92名  内 容：  <b>【講演会】</b>  ①海中ロボット  （講師：東京大学生産技術研究所 准教授 巻俊宏氏）  ②海洋エネルギー発電事業と漁業  （講師：東京大学生産技術研究所 准教授 北澤大輔氏）  ③岩手県海洋エネルギー産業創出等基礎調査報告  （講師：（一社）海洋産業研究会 主席研究員 塩原泰氏）  ④水中ロボット海域試験  （講師：岩手大学工学部 准教授 三好扶氏）  ⑤模擬発電ブイの洋上設置試験  （発表者：産業育成センター 高橋修三）  ⑥釜石高校・スコットランド EMEC 訪問報告  （発表者：釜石高校生徒 EMEC 訪問団）</p>
-------------	---

※「海洋エネルギー産業化研究会」 会員数（H29.3月現在）

会員数：43社（企業32、大学1、行政7、商工団体・支援機関3）

**（3）研究開発費等の支援**

県内企業の海洋エネルギー関連産業への参入を促進していくため、地域企業や大学とともに機器開発や洋上設置・メンテナンス等に関連する技術開発に取り組んだ。

**【実施項目】**

**①低コスト中間ブイの安全性の確立と関連技術の高度化による機能の向上**

- ・潮汐変化に対応する油圧システムやバラスト水給排水機構の動作システムの確立及び破損時の保護機能の課題を検討し、必要な機能を整備した。
- ・これらの機能の検証のため、陸上試験を経て、作業台船を使用し湾内サイト水深37m海域で予備試験を実施し、課題を整理した。
- ・水中カメラ、水中ロボットを活用し、海中での中間ブイの機構の作動が設計どおりであるか観測した。

**②海洋で使用する構造物としての安全性を説明できる設計図面の整備**

- ・完成図面の作図及びこれまで使用した部品図等の取りまとめを行った。

### ③湾口サイト、水深 50m 海域での中間ブイ設置技術の検証及び確立

- ・湾口サイト水深 50m 海域で、作業台船による中間ブイの設置試験を行った。
- ・外海での中間ブイの振れ回りを計測するため、GPS で中間ブイの動きを計測し、また海面での作動状況をドローンで撮影した。
- ・岩手大学に委託して開発を進めた水中ロボット等により海中の係留状況の観察、撮影を行った。

### ④漁業協調のための水中映像記録

- ・安全性の確保を担保する係留状態の観察が必要であることから、海洋予備試験時に設置状況の観察及び映像記録を行った。
- ・水中撮影機能を漁業者が活用するための基礎技術を整理した。

### ⑤取組みの映像記録

- ・研究開発の過程、海域での予備試験等について、(株)IBC 岩手放送への委託により映像記録を作成した。

## 6. 情報提供関連

ホームページ及び電子メール等を活用し、当センター主催または関係機関が主催するセミナーの開催情報や国・県・市町村等の補助金の公募に関する情報等を随時提供。

その他、当センター 2 階ロビーにて、地域企業の製品・パネル等を展示し、地域企業の紹介を行った。



育成センターHP



育成センターFacebook

## 7. 特許関連

地域中小企業者等が産業財産権（特許・実用新案・商標・意匠）の出願を検討する際に、先願の検索調査や出願手続き等の相談対応の他、岩手県発明協会との共催により、当センターを会場に下記事業を開催した。

『知財専門家による相談会』

- ・第1回：平成28年6月2日（木）13：00～16：00  
相談員 弁理士 村雨圭介 氏
- ・第2回：平成28年8月24日（水）13：00～16：00  
相談員 弁理士 丸岡裕作 氏
- ・第3回：平成28年11月22日（火）13：00～16：00  
相談員 弁理士 村雨圭介 氏
- ・第4回：平成29年2月22日（水）13：00～16：00  
相談員 弁理士 丸岡裕作 氏

## 8. 交流・人材育成関連

地域中小企業の技術や取り組みを、地域の住民等に広く理解してもらうことを目的に、地域中小企業が有する技術や商品を展示する、「釜石・大槌地域産業フェア」を開催した。

日 時：平成28年11月29日（火）

場 所：産業育成センター

内 容：釜石・大槌地域企業の製品展示、  
岩手大学、岩手大学釜石サテライト、岩手県立大学の研究紹介

対 象：釜石商工の生徒136名、ほか一般公開



## 9. 復興支援関連

東日本大震災により被災した地域中小企業の復旧と復興、事業の再生や新生に資する各種の課題解決を図るべく、地域事業者の「中小企業等復旧・復興支援事業補助金（グループ補助金）」に係る、採択後の変更申請書、概算払請求書、実績報告書等の作成支援、フォローアップを行った。

## 【収1 貸館事業】

### 1. 貸館事業

地域中小企業の基盤強化や人材育成及び震災復興関連等、地域の産業再生や地域の活性化による公益の増進に資する利用者に対し、低廉な金額で財団の施設を貸し出すもの。

#### 【事業内容】

- ・会議室（大会議室・中会議室）の有料貸出
- ・小会議室を貸事務所、コミュニケーションスペースをシェアードオフィスとして有料貸出

#### 【平成28年度実績】

##### （1）大・中会議室の貸出

延べ127団体、収入額 1,757,000円（H27：140団体、2,047,200円）

##### （2）小会議室の貸出

2団体：（一社）さんりく未来推進センター、有明興業(株)

<月額（税込）：21,600円/社>

##### （3）シェアードオフィスの貸出

3団体：<月額（税込）：5,400円/社>

No	企業・団体名	備考(業種)
1	エコテックワールド(株)	廃棄物処理業
2	(株)原川土木	建設業
3	(株)麻生	製麺業

収入額 545,400円（H27：788,400円）

## 2. 事務受託事業

釜石地方森林組合がパークレイズグループの支援を受けて実施する「釜石大槌パークレイズ林業スクール」の運営に係る事業資金の管理を受託。

四半期毎に森林組合から事業予算の執行状況を提出してもらい、当センターが確認をしたうえで、パークレイズへ監査報告を行い、資金を支出する。

- ・事務受託事業名：「釜石・大槌パークレイズ林業スクール資金管理業務」
- ・受託期間：平成26年12月25日～平成29年3月31日
- ・委託元：釜石地方森林組合
- ・資金管理額：27,526,564円
- ・委託料：2,750,000円（事務受託収入）

	委託料（円）	備考
H26	328,700	
H27	980,000	
H28	480,000	残金961,300円

※事業期間を2年延長することとし(平成31年3月31日まで)覚書を取り交わした。

## 会議関係

- (1) 理事会の開催 3回（定例2回、臨時1回）
- (2) 評議員会の開催 3回（定時1回、決議の省略2回）
- (3) 監事会の開催 1回

## 一般管理事業

- ・センター運営、会館の管理
- ・賛助会員入会の案内、勧誘
- ・会館施設利用のPR